

第44回 静岡県地方港湾審議会 会議録

日 時	令和5年3月22日（水） 13:30～14:20
場 所	静岡県庁 別館7階第二会議室A
出席者 職・氏名	<p>会長 富田 英治（一般財団法人国際臨海開発研究センター調査役）</p> <p>委員（順不同） 宗林 留美（静岡大学理学部地球科学科准教授） 脇田 和美（東海大学海洋学部海洋理工学科教授） 磯谷 千代美（特定非営利活動法人NPOサポート・しみず理事長） 森本 雷行（全日本海員組合静岡支部長） 藪田 国之（静岡県漁業協同組合連合会代表理事会長） 松岡 裕之（財務省名古屋税関長）※代理が出席 稲田 雅裕（国土交通省中部地方整備局長）※代理が出席 戸田 陽一（第三管区海上保安本部清水海上保安部長） 飯田 末夫（静岡県議会建設委員会委員長） 海野 俊也（株式会社静岡新聞社・静岡放送執行役員・東部総局長） 中井 英樹（一般社団法人日本船主協会） 西尾 忠久（清水港運協会会長）</p> <p>臨時委員 小長井 義正（富士市長）※代理が出席</p> <p>事務局 勝又交通基盤部理事（交流・通商担当）、長山港湾局長、北川港湾企画課長 他</p>
議 題	田子の浦港港湾計画（軽易な変更）
配布資料	（資料1）次第 （資料2）委員名簿 （資料3）座席表 （資料4）静岡県地方港湾審議会条例 （資料5）静岡県地方港湾審議会運営要領 （資料6）諮問の写し （資料7）田子の浦港港湾計画書（案） （資料8）田子の浦港港湾計画資料（案） （資料9）説明資料 （資料10）清水港カーボンニュートラルレポート(CNP)形成計画（概要）

（開会）

○ 勝又交通基盤部理事（交流・通商担当）による開会挨拶

○ 事務局報告

- ・ 委員紹介
- ・ 幹事会報告

○ 議事録署名者の指名

富田会長から宗林委員、磯谷委員の指名があり、両名とも快諾された。

○ 議事

田子の浦港港湾計画（軽易な変更）

[事務局から、資料9により説明]

（藪田委員）

計画の変更には異議なし。船揚場を利用する船について、既存の船だけに限定するのか、もしくは新規に使いたい船にも許可を出すのか。

（事務局）

既存の船だけを想定している。新規の船への許可は考えていない。

（藪田委員）

現在の船の所有者が、第三者に船を売買することは認めない方針でよろしいか。

（事務局）

基本的に港内で放置艇とされている船を集約するための整備であるため、転売は認めないことで考えている。新規も認めないことで考えている。

（脇田委員）

港湾計画の変更において水域利用調整会議を開催したということだが、詳細を教えてください。どういった方々がメンバーとなって検討しているのか。

また、浚渫した土砂はどのように利用されるのか。予定があれば教えてください。

（事務局）

水域利用調整会議は、沼川の放置艇について、どのように整理していくかを調整した会議である。その中で放置艇所有者の代表にも参加いただき、陸上に保管をしていずれば水域には係留をしない方向で検討を進めた。それに基づき、今回の計画変更を行っている。

浚渫土砂の利用については、田子の浦港全体で大量の土砂を浚渫しているため、どのように使うか全体的に考えている。今のところ特定の利用方法は定まっていない。

議案について、事務局案のとおり承認された。

○ その他報告事項

清水港カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画について

[事務局から、資料10により説明]

○ 長山港湾局長による閉会挨拶

(以上)